

岡山と中国を結ぶ日中友好のしんぶん

岡山と中国

2023年 8 月

令和 5 年 8 月

278号

信 条

この会は思想・信条、政党・政派の違いとらわれない

この会は広く各界各層の日中友好を願う人々の市民組織である

発行所 認定NPO法人 岡山市日中友好協会

〒700-0902 岡山市北区錦町 5-15

http://www.oka-rizhongyouxie.jp/
E-mail: oknittyu@yahoo.co.jp

☎ (086) 225-5068 FAX (086) 225-5041

郵便振替 01240-1-8821 加入者名 岡山市日中友好協会

発行人 土井章弘 1部200円

印刷 旭総合印刷株

編集人 松井三平



呉経浩大使



一同乾杯!

岡山・洛陽の交流盛ん



大森市長を囲んで洛陽市外国語初級中学の皆さん

岡山外語学院と交流
洛陽の外国語学校
岡山市長を表彰

岡山外語学院(岡山市、片山浩子理事長)と教育交流協定を結ぶ洛陽市の洛陽外国語学校と洛陽市外国語初級中学の生徒・教員ら30人が、7月11日、岡山市の大森雅夫市長を表彰訪問した。

大森市長は「このような交流を通じて、日中両国の絆が深まることを願っています」と激励し、懇談した。

一行は7月9日に修学旅行団として来日、11日に岡山入り、岡山大学や就実大学など

高松に西日本から5百人が参集

日中平和友好条約締結45周年を記念した第6回西日本地区日中友好交流大会が、7月31日、香川県高松市のJRホテルクレメント高松で開かれた。大会宣言では「一条約締結の初心に立ち返り、歴史から知恵や力を汲み取り、ともに日中友好を推進する信念と決意を、より一層強くしよう」と強く呼びかけた。

日中平和友好条約締結45周年記念 西日本交流大会
日中友好をもっと元気に
日中友好をもっと持続可能に

日中友好をもっと 心震わせるものに

拍手で承認された。具体的には「日中友好をもっと信義を重んじるもの」「日中友好をもっと元気に」「日中友好をもっと身近なもの」「日中友好をもっと心震わせるもの」「日中友好をもっと多くの人の心に届くもの」「日中友好をもっと持続可能に」と呼びかけていた。

会場ではあちこちで名刺やワイチャットの交換がされ、また「幸せなら手をたたこう」の歌を日中両国の子供たちが歌うのに合わせ全員で合唱したり、高松商業高校の書道パフォーマンスが披露されたりと盛りだくさんの内容で、会場は友好ムードに包まれていた。

エヴァホール

電話(011)051-0000

(株)アジア・コミュニケーションズ

代表取締役 松井三平

岡山市北区錦町五十一番五
南田ビル四階
電話(086)233-1103
FAX(086)233-1104

学校法人 岡山科学技術学園

理事長 瀬戸川正彦

岡山市北区昭和町八番一〇号
電話(086)255-7771

地域医療支援病院

公益財団法人 操風会

岡山旭東病院

総院長 土井章弘

岡山市中区倉田567-1
電話 086-276-3231

2023

暑中

お見舞い申し上げます

旭総合印刷株式会社

代表取締役社長 大松康彦

岡山市北区内山下二丁目一〇一三
電話 二三二一三三三一

《50音順》

2023・3 上海レポート

岡山市日中友好協会の松井三平専務理事が、3月29日から4月1日まで、ほぼ3年ぶりに上海を訪れた。訪問の目的は、3年余にわたる新型コロナ禍の影響で中断を余儀なくされていた直接交流を、順次復活させるべく、関係者と協議し、今後の交流につなげていこうというもの。上海訪問をレポートした。

松井三平専務理事

上海市外事弁公室主任
杜福安氏を表敬



杜福安主任(右)と松井三平専務理事(左)

にわたる交流が続けてきた。特にコロナ禍では双方の協力によりオンライン教育交流を積極的に推し進め、高く評価された。

今年に入って杜福安氏が外事弁公室主任に就任。小生が日本人として初めて会見するという光栄に浴した。

昨年の授賞式に参加できなかった「上海市白玉蘭賞」を、杜主任から直接授与された。この賞は友好協会を代表して頂いたものである。

【陵園と墓地の参拝】

宋慶齡陵園で哀悼の意
内山完造墓地で献花

今回の訪問は、折しも中国の清明節の時期にあたっていた。このため、毎年この時期

に開催されている国際墓参活動に参加させていただいた。各国の総領事館の要人に交じり、宋慶齡陵園での献花と、礼を以て哀悼の意を表した。

見学後の懇談会では、内山先生の故郷である岡山との交流や共同研究をしていくことなどについて話し合い、当協会としても研究会の設立を検討しており、積極的に対応していくことを伝えた。

その後、参加者は国際墓地へ移動し、自国出身者の墓地があるところでそれぞれの総領事館員らが墓参した。

今後の内山完造研究及び広報活動については、上海市友協の支持と協力の下、『魯迅と内山完造書局』との相互訪問を実施し、岡山と上海の両地で資料の展示や出版物発行などに取り組んでいく。また

【魯迅と内山完造書局】
昔の「内山書店」跡地に
新しい「書局」が開店

墓参の後、上海友協の唐為紅副会長と、郭盛麟調研員の同行のもと、担当者の案内で書局内を見学した。

書局内では若者向けに、カフェや自由閲覧コーナーが設置されており、熱心に閲覧する大学生らも多くみられた。

私には、日本総領事館新聞文化部長の米田麻衣領事と内山完造夫妻墓地に献花し、手を合わせた。

大学内山完造研究会との共同研究を再開し、協会に眠っている未解読資料の分析等を行うとともに、研究発表を通じて内外に発信していくこととしたい。日中平和友好条約45周年の本年、初心に戻って内山精神の発揚に努めたい。

(松井・記)



「白玉蘭賞」を杜主任より直接授与



宋慶齡陵園で献花



内山完造墓地に参拝



魯迅と内山完造書局前で



書局内で見学し歓談

2023

暑中

お見舞い申し上げます

《50音順》

地方独立行政法人

岡山県精神科医療センター

理事長 中島 豊爾

〒700-0925 岡山市北区鹿田本町三一六
電話 二二五-三八二一

岡山県日中教育交流協議会

会長 岡本 啓

〒700-0902 岡山市北区錦町五一五
電話(086)二二五-五〇八三
FAX(086)二二五-五〇四一

専門学校

岡山ビジネスカレッジ

校長 西崎 誠

岡山市北区岩田町三一二
電話 二二三-三三六四〇〇
FAX 二二三-三三六四〇〇
http://www.obcnet.ac.jp
E-mail:obc@obcnet.ac.jp

黒住教

教主 黒住 宗道

〒701-2222 岡山市北区尾上神道山
電話(086)二八四-二二二二
(代表)

下津井電鉄株式会社

代表取締役会長 永山 久人

岡山市北区大元駅前三一六一
電話(代表)二三三-八八一

日中国際連帯植樹植林事業・洛陽市新安县

植樹現場へ技術者派遣調査

洛陽市新安县で緑化事業と取り組んできた岡山市日中友好協会は、このほど、洛陽市人民対外友好協会の招請を受け、松井三平専務理事が岡山大学農学部、嶋一徹教授と共に現地調査を実施した。

当協会では、日中緑化交流基金助成による15年間の日中



現地調査に当たったスタッフ



現地に建てられた「日中友好林」の碑



植樹植林の現地

もできなかった。

本年に入り、渡航制限が緩和されたため、緑化事業の力ウンターパートである洛陽市人民対外友好協会の招請を受けて、7月12日から洛陽入りし、15日に現地での調査に入った。

本事業の面積は3年間で31・5ha、そのうち本年は10・5haで、樹種は五角楓と

油松、植樹総数2万7、195本という計画。

今回、土壌環境管理学が専門で、国内のみならず世界各地の緑化事業に尽力されている岡山大学農学部の嶋一徹教授に現地調査いただいた。

現地の新安县石井鎮は洛陽市内から車で約2時間。当日、洛陽市と新安县の境界線のところまで郭昌偉副市長と王毅林業局長等が出迎えを受け、先導いただいた。

天気は良く快晴だったが、気温は40度を超すような中、調査に当たった。洛陽市人民対外友好協会の張靖さんも通訳をしながら最後まで汗だくで同行していただいた。

現地には、洛陽市友好協会と新安县林業局の尽力により、現地入り口付近に「日中友好林」と揮毫された立派な碑が立てられていた。碑にはこの事業のいきさつと意義が詳しく明記され、地

元石井鎮拴馬村の人々にも岡山市民の友情が伝わることを期待している。(松井・記)

中国東方航空

岡山空港の上海便
8月4日から再開

岡山桃太郎空港の上海便(中国東方航空)が、8月4日から定期便の運航を再開した。当面、週2往復体制で運航する。

月、金運航で、岡山発は14時(上海着15時20分)。上海

発は9時30分(岡山着13時)。上海便については、1998年に週2便でスタート、その後週7便にまで増便、年間の利用者数は6万6、000人を超えていた。コロナ禍で2020年2月から運休していた。3年半ぶりの再開。

これで、同空港の国際路線の再開は、今年3月に運航再開した台北便に続き2路線となった。

洛陽市の植樹現場を視察して

岡山大学農学部教授 嶋 一 徹



嶋教授(中央)と現地スタッフ

自然植生が徐々に回復しつつある
五角楓は活着率高く良好な生育

7月13日から岡山市日中友好協会・松井三平専務理事らと洛陽市を訪問し、日中国際連帯植樹植林事業助成で実施された新安县石井鎮の植樹現場を視察してきた。

現場は黄河沿いの東向き斜面約10・5haであり、計画では五角楓(イタヤカエデ)7、770本、油松3、885本が植栽されている。

写真を見るとこの一帯は、

2002年頃まですべて農耕地であったが、2010年以降事業対象区域を含む一部区域で耕作が放棄され、自然植生が徐々に回復しつつある場所である。

現地は「生態保護林プロジェクト」として景観回復に取り組んでいるようで、センダン(棟樹)、コノテガシワ(側

柏)に加えて、日本では外来種として分布域拡大が問題となっているニワウルシ(臭椿)などの高木性樹種が灌木類に混ざり疎に分布していた。

植栽は現地の都合で降雨の少ない時期に実施されたが、五角楓は落葉期に大型苗木の梢端部を切り揃えたのち植栽されたため、活着率が高く良好な生育が確認できた。

しかし、耐乾性が高い油松は活着が悪く枯損個体も多数確認され、今後、灌水などの保育作業に加えて補植作業も必要であると思われる。

2023

暑中

お見舞い申し上げます

《50音順》

株式会社 田辺産業

代表取締役 田 邊 繁 之

岡山市北区錦町五一五
電話 二二五一四九一

株式会社 中外燐寸社

代表取締役 田 中 礼 一 郎

岡山市南区浦安南町五五〇
電話 二六三一二四五

白馬寺ご請来 玉佛堂

協会副会長 宮 本 光 研

〒七〇〇一八〇七 岡山市北区南方三一〇一四〇
電話(〇八六)二二三一七四五〇

株式会社 トマト銀行

取締役社長 高 木 晶 悟

岡山市北区番町二一三二四
電話(〇八六)二二二一〇一〇

株式会社 レイ

ANAクラウンプラザホテル岡山

取締役 岡 崎 登

岡山市北区駅元町一五一
電話 八九八一一一一

中学生 8 人が洛陽へ

《岡山市子ども海外派遣事業》
異文化・異言語との遭遇！



岡山市の子ども海外派遣事業で今夏、8人の中学生が友好都市・洛陽を訪問、現地の中学生等と交流した。

一行は、7月25日岡山を出発、上海経由で洛陽入り。洛陽第二外国語学校を起点に洛陽の中学生らと交流。博物館や史跡などを見学。

ホームステイがあり、中国の家庭生活を実体験、それぞれ異文化、異言語との遭遇に

『内山完造と中西寛治との出会い』 松井専務理事が岡西公民館で講演

岡山・十五年戦争資料センター主催の第五回研究会が、6月24日、岡山市立岡西公民館で開かれ、当協会の松井三平専務理事が「内山完造と中西寛治との出会い」と題して講演した。

松井専務理事は、1956年の訪中学術視察訪問団（团长・林秀一岡山大学教授ら15

果たした中西寛治初代事務局

牡丹絵画体験

長の、人となりや松井との出会いなどについてエピソードを交えて話した。

中西氏は1949年に日本で初めて「日中友好協会」の看板を矢掛町の自宅に掲げ、内山完造氏に師事し生涯を日中友好に捧げた。

そして岡山市日中友好協会設立については準備段階から協力し、今日の協会の基礎を築いた。

約1時間半の講演後、質疑応答の時間があり、その中では「中西さんの存在について全く知らなかった」「日中友好協会の組織経過について理解できて良かった」など多くの感想が寄せられた。

当日は、センター代表の香月恵理岡山商大教授や開拓団の研究で知られる青木康嘉氏ら学術経験者、日中友好に関心ある市民が集まった。

新見市国際交流協会 総会と講演会を開催

新見市国際交流協会の講演会と総会が、6月12日開かれ、岡山市日中友好協会の松井三平専務理事が「岡山と中国の友好について」岡山市日中友好協会の経験と新見市・信陽市の交流経過と題して講演した。

前半は、1950年代に始まる岡山と中国の交流の歴史をたどり、日中友好協会の設立に至る経過や協会の活動の足跡について具体的な事例を挙げながら説明。

後半は、故田口克己さん（五洋工業元社長）が戦中に病で倒れ、信陽の青年が敵地である日本軍駐屯地まで移送してくれたエピソードが縁で新見市と信陽市（現在は瀋河区）との友好都市に到った経過やその後の活動内容を話した。

特に日中児童キャンプ交流等民間団体として設立された「新陽会」の果たした役割、そして新見市千屋に建設されている千屋牡丹園について、苗木輸入から新陽亭建設に到る経過で山一工業の故森下衛氏や地元成地振興会の方々の果たした無償の功績について触れた。

会場にはかつて訪中国に参加した人や、その子息など、国際交流協会会員ら約30名が参加し、熱心に聞き入っていた。



松井氏が講演

活動日誌

- | | |
|---|--|
| 3/17...「岡山と中国」3月号發送（協会） | 6/13...岡山市後楽館高校洛陽訪問事前打合せ |
| 3/20...市立操南中学校、洛陽市東昇第二中学と友好提携一周年記念ビデオメッセージ交換（操南中学校） | 6/14...上海福苑康養健康管理有限公司来岡、岡山リハビリテーション病院視察（土井会長） |
| 3/29...上海訪問（教育交流協議）4/1、松井専務理事） | 6/15...（株）アジア・コミュニケーションズ株主総会 |
| 4/1...洛陽市から周勝偉氏、張麗梅さん来岡 | 6/16...上海惠敏学校卒業式に県立東備支援学校からビデオ祝賀メッセージ送付 |
| 4/17...岡山市民局（田中哲也局長）4名ご挨拶（岡山旭東病院） | 6/17...瀋陽翼風伝力文化伝播有限公司の張新竹氏来岡、岡崎嘉平太記念館、協会訪問インタビュー |
| 4/24...洛陽市人民対外友好協会第一回理事会へ土井会長祝賀ビデオメッセージ | 6/22...洛陽市より周勝偉氏来岡、岡山旭東病院健診 |
| 5/11...中国茶会（協会） | 6/24...岡山15年戦争資料センター主催講演会（松井専務理事講演、岡西公民館） |
| 5/19...上海白玉蘭会（東京） | 6/26...洛陽市より張麗梅さん来岡、坂出聖母眼科健診 |
| 5/24...第三回協合理事会 | 7/6...猪木理事と編集打合せ（協会） |
| 5/26...市国際交流協議会総会（西川アイプラザ） | 7/12...洛陽市を訪問（7/17、松井専務理事） |
| 5/27...県日中教育交流協議会総会・理事会（県生涯学習センター） | 7/29...県日中懇話会江西省訪日団歓迎会（アーケホテル） |
| 5/29...静岡県日中友好協会、細見常務理事ら2名来岡 | 7/31...第6回西日本地区中日友好交流大会（J Rホテルクレメント 高松） |
| 5/30...矢掛町立三谷小学校と西安師範学校付属小学とのオンライン交流会（三谷小学校） | |
| 6/12...新見市国際交流協会総会・講演会（松井専務理事講演、新見市） | |
- ### 先憂後楽

▼4年ぶりに懐かしい洛陽を訪問した。コロナ禍の3年間、オンラインでの交流など頻繁に実施してきたので、疎遠感はありませんでしたが、実際に足を踏み入れると、街の変容ぶりに驚いた▼洛陽北郊空港周辺がきれいになっていった。高架道路が何本もできていた。聞いたのはいたが地下鉄が1号線2号線と開通していた。高層ビルが増えている。何より驚いたのは、隋唐時代の遺跡保存をしながらその上に往時の建築物を復元している。また、新区が活気を呈していた。今回見る時間がなかったが隋唐博物館もすごいらしい▼嬉しかったのは老朋友との再会、新朋友との出会いだ。外事弁公室との夕食会に劉典立元市長が飛び入り参加された。少し痩せておられたが元気で友好都市交流の大切さ、日中友好を大いに語られた。洛陽の銘酒・杜康酒の30年の秘蔵酒で何度も乾杯した▼これまで13の王朝の都になった古都洛陽がいま往時の規模の都を現代風に復元しようとしている。トラクターやベアリング、ガラスなど国営の基幹工場があり、モリブデンなどの希少鉱物の産地でもある。観光、工業都市としての発展の可能性は無限だ▼日中平和友好条約締結45周年、岡山市洛陽市友好都市締結42年の本年、日中関係が厳しい今日だからこそ、地方同士、市民同士の交流を拡大して友情を温め、相互理解と相互利益を図っていく土台を作っていくのが私たち民間友好団体の役割と確信している。（松）